

WEEKLY NEWS

Vol.56 第2669回例会

2022.9.10

今年度会長テーマ

夢をもち、寛容と奉仕の心で、地域・世界に貢献!!

地区大会 本会議



ガバナー挨拶：嶋村文男ガバナー

—— 本会議プログラム ——

点鐘
国歌斉唱・奉仕の理想
黙祷
RI会長代理紹介
ガバナー挨拶
記念講演：道下美里様(福岡中央エンジョイ衛星クラブ)
特別講演：関場慶博(RID2830PG)
パネルディスカッション
点鐘

- 会員数：28名
- 欠席：5名
- 免除者：1名
- 出席率：80.77%
- 出席者：21名
- 3週間前出席率
(修正後)：88.88%



例会日：毎週木曜日 12:30~13:30
例会場：八坂神社 社務所
〒189-0013 東京都東村山市栄町3-25-1

週報作成：クラブ管理委員長 榎本 弘容
事務所：〒189-0013 東京都東村山市栄町3-5-1 ハイツむさしの101
URL：https://hm-rc.org/ h.murayama@eagle.ocn.ne.jp
facebook：https://www.facebook.com/HigashimurayamaRC/
TEL 042-393-7500 FAX 042-395-1166



会長：北久保隆一
副会長：中條基成
幹事：大仁田隆義
副幹事：榎本弘容

地区大会のテーマのスローガンを「ロータリーに夢を」とし、ロータリー活動に「意欲」が高まるプログラム。わたくし達の未来であるロータリーファミリーが参加しわたくし達とつながりがある中で「刺激」ある大会運営。そして、20年ぶりにロータリー年度の前半に開催することに「共感」を得られるようなスタートアップ型の新しい形の地区大会をつくりあげました。ガバナー信条として「Take Action for Rotary Futuer」(ロータリーの未来の為に行動しよう)「Reach Out for World Peace」(世界平和の為に手をさしのべよう)と共に、元気なクラブ作りを目標に、参加型の奉仕活動を展開、クラブ会員が奉仕の理念を携えて、主体的に考え行動する事でロータリー活動の意義や新しい仲間との出会いを楽しみロータリアンとしての誇りを呼び起こして欲しいと願っています。

記念講演

～ ともに輝くために私たちができること ～

東京パラリンピック 女子マラソン金メダリスト

■福岡中央エンジョイ衛星クラブ：道下美里様



東京パラリンピック女子視覚障害マラソンで、圧倒的なスピードで金メダルに輝いた道下美里さん。「みんなのおかげでとれた」一人では決してとることのできない金メダルでした。10歳の時に難病を発症、右目はほとんど見えず、左目は白くかすみ、ものの輪郭をはっきりとらえることができません。26歳の時に入学した盲学校で走ることに出会い、走ることに好きになり、才能を開花させました。結婚を機に福岡に移住した頃、走る上で大切な仲間、ガイドランナー、伴走者と出会います。一人で走ることでできない道下さんの目のかわりとなり、一緒に走ります。道下さんの笑顔と明るさに人が集まり、2014年「チーム道下」を結成。100人を超えるランナーや会社の仲間たちが彼女を支え、輝かしい結果を生み出していきました。2016年にはリオパラリンピックで銀メダルを獲得、2017年には世界記録を樹立、その後自ら2度更新。その仲間と共に金メダルの夢を叶えます。道下さんは更にその先に新たな夢を描いていました。「目が不自由になって感じてきたバリアを取り払い一つずつ形にしていきたい。それが最終的な自分の使命なのかな、と思っています。」社会を変えるための道下さんの活動は始まっています。バリアフリーといわれる社会もまだまだ壁があるといわれます。それを一つ一つみんなと一緒に変えていきたい。道下さんの挑戦は続きます。

特別講演

～ ポリオメッセージ
ポリオとロータリーと私 ～



「What does it mean?」なぜポリオ根絶活動を続けるのかを皆さんに問います。この1枚の写真にすべての答えがあります。この子は自分が立って歩けるようになる前に感染してしまいました。だから自分の力だけで立つことが出来ず、装具で歩行訓練を取り入れた赤ちゃんです。私たちロータリアンはこのような赤ちゃんをもう生み出さない、その約束の下で1985年にポリオ根絶計画(ポリオプラスプログラム)を発表し、1988年から計画に参加しています。世界で活躍するイチローさんや大谷選手には皆さん、元氣や勇氣をもらっていると思います。イチローさんのシアトルマリナーズでのスピーチの中で、印象的な言葉がありました。「言葉とは何を言うかではなく、誰が言うかに尽きる。その誰かに値する人間に、そんな生き方を目指したい。」私たちは1985年に世界の子供たちに向かってポリオ根絶を約束しました。そしてそれ以来、40年近くにわたり、ロータリーはその最先端に立ってポリオ根絶に携わってきました。そのロータリーだからこそ、私たちはこのポリオ根絶に値する組織であります。そしてロータリアン一人一人にかかっていると思います。「Every Last Child」最後の一人までワクチンを打とうではありませんか。そしてポリオのない世界を実現しようではありませんか。ポリオのない世界を想像してみてください。私にはポリオの恐怖から解放された多くの子供たちの笑顔が想像できます。そのことを実現する、それに値するのが私たちロータリーです。大きな誇り、自信を持って、だからこそ、その責任があります。ポリオ根絶のその日まで活動を続けていきたいと思ひます。ご静聴ありがとうございました。



閉会点鐘：嶋村文男G